

## フォトアルバム



9月 オープンカンファレンス 東京医療センター 藤波 芳先生と杏林アイセンター一同



10月 第64回東京多摩地区眼科集談会

## イベント情報

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、延期や中止などの変更が生じる可能性がありますので、ご参加の際は最新の情報をご確認ください。

### <第7回城西武蔵野眼科講演会>

2022年3月2日(水) 19:00~21:00 (予定) 場所: 中野セントラルパークカンファレンス(予定)  
会費: 1,000円(日本眼科学会認定専門医2単位)  
特別講演: 「ERG 関連について(仮)」篠田 啓 先生(埼玉医科大学眼科 教授)

### <第12回東京多摩眼科連携セミナー>

2022年5月28日(土) 14:30~17:00 場所: 杏林大学 大学院講堂(予定)  
会費: 1,000円(日本眼科学会認定専門医2単位)  
教育講演: 「循環器と眼疾患(仮)」副島 京子 先生(杏林大学医学部循環器内科学教室 教授)

### <13th Eye Center Summit>

2022年6月4日(土) 17:30~20:00 (予定) 場所: 丸ビルホール & コンファレンススクエア 7F  
会費: 2,000円(予定)(日本眼科学会認定専門医2単位)  
講演 1「前眼部疾患について(仮)」谷戸 正樹 先生(島根大学医学部眼科学講座 教授)  
講演 2「後眼部疾患について(仮)」柳 靖雄 先生(横浜市立大学大学院医学研究科視覚再生外科学教室 客員教授)

## 編集部からのコメント

COVID-19 禍が続く中で、アイセンターも病院の新型コロナ外来への協力や眼科緊急疾患にできるだけ対応してきました。こういう危機的環境が続く中で、若い人材が実力を伸ばすことの重要性を再認識しています。そのためには関連施設の充実と連携強化が必要です。今後は、医局員が出張してご指導いただいている施設も紹介していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。(AH)

# Kyorin Eye Center Newsletter

vol. 63  
Fall  
2021

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2 杏林アイセンター Tel: 0422-47-5511 (ext. 2606) Fax: 0422-46-9309

- ◆立川病院の紹介(矢田 長洋) .....<1> ◆フォトアルバム .....<4>
- ◆栗原眼科病院の紹介(山本 雅) .....<2> ◆イベント情報 .....<4>
- ◆けいゆう病院の紹介(福本 隆基) .....<2-3> ◆編集部からのコメント .....<4>
- ◆アイセンター戦略企画会議について(岡田 アナベル あやめ) .....<3>  
<執筆者:括弧に明記 production:中山真紀子、津田麻祐子、草壁裕子、岡田アナベルあやめ>

## 立川病院の紹介(矢田 長洋)



矢田 長洋

2018年杏林大学病院眼科学教室入局の矢田長洋と申します。2020年4月より国家公務員共済組合連合会立川病院に出向しています。現在の眼科医は私含め4名で慶應義塾大学病院の関連病院であることもあり、杏林大学病院からの眼科出向としては私が初めての人事でしたが温かく迎えていただきました。

現在の仕事内容について簡単にご説明させていただきます。月・水・木曜日は主に外来業務で水曜日は初診の担当をしています。私の主な手術日は火曜日ですが水曜日の午後にも行っています。月に2回ほど当直日があります。外科のかかりつけの患者さんや病棟対応以外は基本的に眼科の救急外来の対応がメインとなります。

外来は緑内障、糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症による黄斑浮腫、加齢黄斑変性などの患者さんが多いですが、高度のぶどう膜炎や難治性の角膜疾患の患者さんもいます。common diseaseはもちろんです、その他様々な疾患を経験することができ、日々良い刺激を受けています。

また2017年より当院は新病棟に改築されたため、最新の設備が揃っており治療の選択肢も増えております。近医からの紹介患者さんを含め全体の症例数も多いため、自身のスキルアップの場としては最適な環境と思っております。

手術は現在白内障手術をメインに担当させていただいております。部長の適切な指導の下に段階的に技術を身に付けることができます。ある程度自分の裁量で手術件数を増やすこともできるので、十分な症例数を確保することができます。難症例も多いですが常に上級医に相談できる環境が整っておりますので、安心して手術に臨むことができます。

私の場合、金曜日は研究日あるいは外勤日に当てることができ、自己研鑽の時間も保たれています。日々の業務に忙殺されがちですが、無理なく知識のアップデートをする環境は考慮されています。

レジデントの経験を積む環境としては最適かと思っておりますので、今後出向を考えている先生方にはお勧めしたいと思います。

